渋谷支部報

発　行
（一社）東京都建築士事務所協会 渋谷支部
支部長　山本 誠
編　集
渋谷支部編集委員会
会員数
正会員 114社
協力会員 18社

令和5年 2月 現在
支部ＨＰ ＱＲｺｰﾄﾞ

令和五年渋谷支部第九四回定時総会・建築懇談会開催

一般社団法人東京都建築士事務所協会渋谷支部は、去る五月二十六日に令和五年渋谷支部第九四回定時総会と、建築懇談会を開催しました。年度最初の事業であり建築懇談会は盛会の内に実施できましたことを大変うれしく思います。

上：参加者全員写真

定時総会後に渋谷支部建築懇談会が行われました。この会は渋谷区の建築関係部署の皆様、及び渋谷支部の正会員・協力会員・関係者の皆様方にご案内しております。

今回はお忙しい中、長谷部健渋谷区長はじめ、岡部尚徒木密・耐震整備課長、福嶋一平建築課長、行廣勝哉まちづくり渋谷駅中心五街区課長と、本会より富樫亮副会長、墨田支部より二名の副支部長様、そして協力会員の皆様のご出席をいただきました。

会は猪野副支部長の司会で、初めに建築士事務所憲章を、今回新たに選任された会沢副支部長が、渋谷区民憲章を古川副支部長が朗読しました。

山本支部長挨拶としては総会において審議が滞りなく行なわれ、新しい体制で今年度を進めて行くこと。特に会員との情報交換、研修会・見学会等を進めていくこと。また、渋谷区との情報交換をより協力に図って行く旨の挨拶がありました。

その後、区長表彰が高須副支部長・野越本会事務局長に授与されました。この表彰は永年渋谷支部の会務運営推進、および建築設計監理業務に精励され、地域の発展に貢献された方に送られる賞です。あいにく野越様は所要により欠席されましたが、お二人とも支部の会・行事には積極的に参加いただき、高須様には昨年建築見学会を計画頂きました。野越様には副支部長としてはもとより、現在は本会の事務局長として会務運営をしており支部としても頼もしい限りです。

上から
山本支部長
富樫副会長
区長表彰受賞の
高須副支部長

各課長様及び本会富樫副会長、よりの挨拶では、渋谷のまちづくりについて、建築基準法改正について、耐震について他のお話を頂きました。特に、行廣課長の挨拶時に千葉県地方で地震が発生し行廣様が携帯で地震の情報を確認していることは、さすが前防災課長ならではと感じました。

長谷部健渋谷区長様からは、コロナが５類に移行したこと、建築行政の話で入札で工事価額が合わず不調になるケースが多いこと、学校の建て直しの件、災害時の災害時の防災・復旧についてのお話がありました。

いずれにしましても渋谷支部としては協力を惜しまず連携を図っていくこととします。

上から
長谷部健渋谷区長
岡部尚徒木密・耐震整備課長
福嶋一平建築課長
行廣勝哉まちづくり渋谷駅中心五街区課

●支部定時総会報告

渋谷支部第九四回定時総会が開催され、会員数１１４社中、出席１５社、委任状又は議決権行使書（議案反対はありませんでした）数が２４社、合計で３９社で支部規則により、会員数の三分の一以上で総会が成立する旨確認されました。その後議長団が指名され審議が始まりました。

第１号議案・令和４年度事業報告の承認に関する件。

第２号議案・令和４年度決算報告及び監査報告の承認に関する件。

第３号議案・令和５年度役員承認に関する件。

これについては新支部長候補の後藤建二様は辞退されましたことを報告いたしました。

以上議案が行われましたことをご報告いたします。

構造屋のワンポイント

関東大震災より100年にあたり

５月５日の１４時４２分に石川県能登半島沖で震度６強を観測した地震が発生し、珠洲地域に大きな地震被害が発生しました。また、はじめて長周期地震動階級３の観測が報じられました。

以前にも記載しましたが、今年は関東大震災から１００年となります。地震に対する備えがより重要になってくるかと思います。東京都におきましても、「耐震改修推進計画」が３月に改訂され、新たな取組として２０００年以前に建築された木造住宅の耐震化支援業務に非木造の耐震化支援業務に緊急輸送道路沿道建築物の耐震化支援業務に関する技術者講習。既存住宅状況調査技術者講習。

木造住宅の新しい取組は、２０１６年４月１４日に熊本地方で発生した地震において、１９８１年６月以降に建設された木造住宅で、いわゆる新耐震建物と言っている建物の内２０００年６月の建築基準法施行令改正前の建物に多く被害が認められたことから、木造住宅における２０００年問題「グレーゾーン」として問題視され耐震化の補助が望まれていました。

また、マンションの耐震化では住戸部分への耐震補強は住民間の合意形成が難しく耐震補強が進まないケースが多々見られています。その中で特に1階部分にあるピロティ柱について補強することで、建物の倒壊をいくらかでも少なくすることを目的として補強の補強に対して補助がはじめられる予定です。

事務所協会としても、このような東京都の建物への耐震化の取組に対し、協力していくこととしています。
渋谷区においても木密・耐震整備課の皆様と改めて区の耐震化行政に関して、あるいは防災行政についても支部として協力して行きたいと思います。

安藤欽也（渋谷支部監事）

（資料は都HPより）

支部からの報告

報告事項（四月～五月）

●理事会　臼井勝之

ＣＮ（カーボンニュートラル）・ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の推進は個々の事務所で改革を。中期計画を総会までに策定を進める。関東大震災から１００年防災の意識を忘れずに。現在会員数１６０９社。

●支部長会　塚部彰

会員増強目標値の設定について、渋谷支部は10社目標。増強実施例として①情報発信ツールとして支部インスタグラムを作成。支部ＨＰと連携した有効なＳＮＳの活用を図る。②コア東京を関連士業にマンション省エネ再エネ促進事業のご協力事務所募集する。（相談窓口はＴＡＡＦ内に）検討。計画費Ｒ５年度５００棟（今後分譲１０００棟、賃貸１５００棟予想）耐震改修計画等の技術評定にマンション建替法追記。他。

●事業委員会　河邑石水

ピロティ階等（耐力壁等の配布する。③法制勉強会を役所・消防・民間検査機関に講演依頼した。④省エネ・耐震の建築物バリアフリー条例における宿泊施設の規定見直し。建築ふれあいフェアーについて、実施日９／９（土）９／10（日）。ポストカード作成協力。支部出展依頼（６／３０）までに。本会定時総会・懇親会について、６／１５（木）明治記念館　蓬莱の間

●会員の異動　山本誠

正会員・２社変更、会員数１１４社　協力会員・１社入会、会員数１９社

●会計報告　野崎岳夫

四月の会計報告がなされた。

量が概ねＩｓ0.3未満）緊急対策事業補助金・都と耐震改修計画等の技術評定に関する協定締結の専門機関として。既存マンション省エネ再エネ促進事業ＷＧ・大規模修繕に合わせ、協力事務所募集、講習を行う。

協力会員コーナー

協力会員の皆様の紹介欄です。ＰＤＦ又はＪＰＥＧでお送りいただきましたらこの欄に載せます。

鐵骨の防錆に塗ってめっきが出来るZRCを！

① 超防錆力を誇る常温亜鉛めっきZ.R.C.の皮膜。

② 耐熱性・密着性・強度・etc. を長期にわたり保持。

③ 電気伝導を発生させて超防錆力の礎とする。

株式会社　ゼットアールシー・ジャパン